

事例2

最悪の事態でも生産が 中断しないように 近隣の同業他社と補完し合える 提携関係

大協製作所

自動車部品への亜鉛めっきをはじめ金属表面処理を主力事業とする大協製作所が注目されるのは、地震や火災などの災害が起きた場合、事業を相互に補完できる契約を、他社との間で2009年9月に締結したことにある。この提携における相手企業は、同業で経営者同士が旧知の間柄でもあった羽後鍍金(横浜市金沢区)である。

災害は、いつ起きるかという予測が難しく、昨今の厳しい経済状況もあって、対策がついおそろかになりがちな企業が多い。だが、ひとたび大規模な災害が起きれば、工場への被害は甚大であり、その時になって必要性を痛感しても遅い。だから、事前の対策を重視し、実施している企業にとっては、それ自体が有利な特質となる。大協製作所の栗原敏郎社長は言う。

「災害による工場への被害はないに越したことはないし、現時点では、為替レートの円高のほうに業績に与える影響は大きいかもしれない。ただ、

長期的に考えると、災害は絶対はないとは言いきれない。だから、万が一の事態が起きても、他社との相互補完で事業を続けられる体制を整えておく必要がある。今回のように明確な提携関係を結んだことで、自動車部品メーカーを中心とする顧客の信用度はより高まったと感じている」

栗原社長がそう語るのは、自動車部品に特有の理由もある。大協製作所は、間接的には、国内すべての大手自動車メーカー向けの部品の表面処理を行っている。詳細に言えば、ドアロックやアキュムレータなど機能部品へのめっきと塗装が主力事業だ(写真1)。

これらはいずれも自動車生産に欠かせないだけでなく、自動車(完成車)メーカーが一般的に大

写真1 売上高の7割は自動車部品。写真のようなストライカーのめっきや塗装などを手がける



工場概要

会社名：(株)大協製作所
所在地：〒240-0035
神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町1125
操業日：1963年
従業員数：80人
事業内容：金属表面処理